

本&心をまわす
「信州須坂どこでも図書館」



市立須坂図書館

須坂市の図書館活動 本のちょっと自己紹介

旧市街地に取り残された
築42年の図書館。

蔵書22万冊。職員12名

須坂市にただひとつの図
書館として、さまざまな
世代や分野をカバー。

「親しみあふれる図書館」
をめざし、「臨機応変に
最善を尽くす」。

公式キャラクターの
「ぶっくる〜」がPRに
力を発揮。

「おはなしの会」(毎土)登
録ボランティア16団体

「おはなしポイントカー
ド」ポイントがたまると、
ぶっくる〜からお手紙が
届く。

「おとなのための朗読会」
朗読・音訳にも力を注ぐ。

視覚障がい者に「広報須
坂」「助け合い起こしすざ
か」「須坂新聞」の音訳CD
を郵送。

郷土資料の充実「須坂人
」コーナー

ほのぼの川柳ほくしん流(
須坂新聞社)「まちゼミ」
(商工会議所)

信州須坂どこでも図書館

「信州須坂どこでも図書館」誕生秘話

- 2013(平成25)年11月1日、スタート

定義:個人所有の図書に、**市立須坂図書館**で不要となった**図書**を加え、事務所・店舗に配置し、読書の場を提供するもの

13公共施設(含む図書室のある8地域公民館)+8店舗が参加

- 「行ってみたら、ぼろぼろの本が置いてあるだけだった」

「あれではだれも行かない」など、当初の評判は芳しくなかった。

- 2014(平成26)年度、長野県地域発元気づくり支援金を申請し、看板やシールを作成、本格的に事業を開始した。

見えてきた課題

木の看板 & かわいいシールをつくっても

- 除籍本だけでは魅力がない
- 参加するメリットは何か？
- 点在するお店をまわって職員が整備するのは無理
→ 伸び悩み

参加館は増えたのに……



インテリアショップ&カフェ

- どんなに素敵なお店でも「本」が目的では入りづらい。
- 特に、子どもが入店できない。
- 個人宅の不審者問題など

→ コロナ禍に突入

でも……

**これって、どこのまちでも
かかえている問題ですよね？**

みつけた答え

- 市民が「参加したくなる」しくみをつくる
参加するメリット：宣伝、集客、魅力的な本
仲間づくり
- 市民が「行ってみたくなる」場所にするしかけを考える
スタンプラリー、読書会など……

市民が「参加したくなる」活動に！

市民が「安心して参加できる」活動に！

市立須坂図書館からしっかりした支援が受けられる

→ **市民が「安心して参加できる」活動になる**

→ **「信州須坂どこでも図書館」と「市立須坂図書館」の
つながりが、市民にも見えるようになる**

→ **「市立須坂図書館」のPRをしていただける**

→ **「市立須坂図書館」の仕事に専念できる**

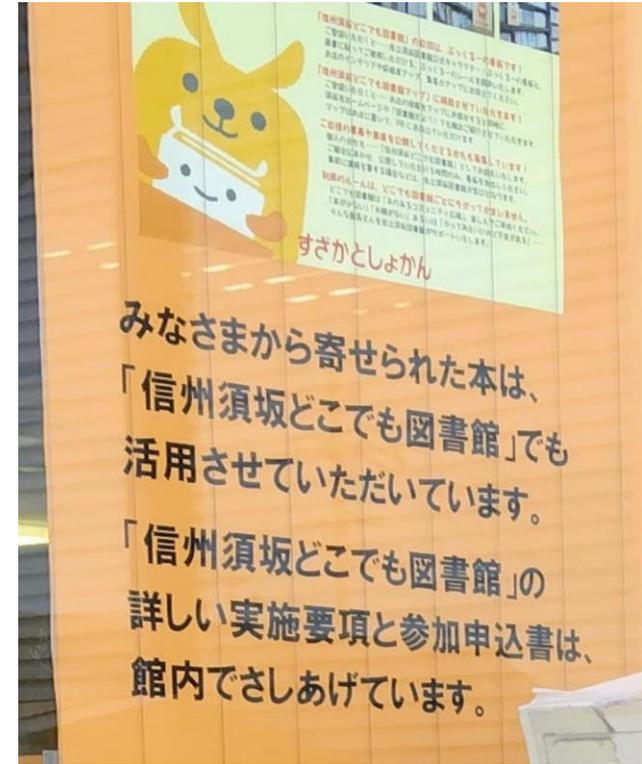
ブックリサイクル市との連動

- 須坂市のブックリサイクル市は、1998(平成10)年度にスタート。
年々規模を拡大し、読書の秋の目玉イベントに発展。
- 東日本台風19号襲来後の2020(令和元)年度は、
各種イベントが中止になるなか、
被災者への優先配布をかかげて開催。

「読まない本を読みたいひとへ」呼びかけが定着。

→「よい本」が集まるようになってきた！

365日リサイクルへ



リサイクルポストを屋外に

やさしい事前配布はじめました！



リサイクルステーション（西館）



おすすめ本をピックアップ
いつでも配布コーナー

コロナ禍でのブックリサイクル市 2020(令和2)年度



受付風景



会場(剣道場)の様子

コロナ禍で生まれた新ルール

2020(令和2)年度、新型コロナウイルスへの対策として、

- 事前申込制(抽選で入場時間を決める)
- 1時間の完全入れ替え制
- 上履き持参

→**ず〜っと使いつづけられる本物のルールに!**

3密、天候、トイレなどの課題から

→**会場を広い市民体育館に!**

本&心が ぐるぐるまわる須坂市へ

●本を活かし、ひとの気持ちも活かす「本でつながるしくみ」

●現在、公共施設30館、一般のお店等36館

「信州須坂どこでも図書館」の看板は、

「本が好き」の意思表示

「市立須坂図書館とつながっている」旗じるし

市民を応援して、市民から応援される図書館へ！

リサイクルからアップサイクルへ



蔵のまち観光交流センター



リサイクル本がインテリアに！

「信州須坂どこでも図書館」のあゆみ

	主なできごと	参加館(館)		リサイクル図書(冊)		リサイクル市での提供(冊)	
		公共施設	一般	除籍図書	ポスト	来場者	どこでも
2013 (平成25)	全市をフィールドとした読書活動推進のため、11月1日から実施。	13	9	2,988	3,434	3,985	
2014 (平成26)	「長野県地域発元気づくり支援金」を活用して事業拡大。どこでも図書館への支援として、ブックリサイクル市での事前配布、開始。安曇野市、小布施町を視察。	29	13	4,091	2,932	4,038	
2015 (平成27)	本の優先配布(意見交換会) ブックリサイクル市(10月24日)+西館倉庫(3月29日)	29	19	3,603	4,555	4,471	
2016 (平成28)	ブックリサイクル市(10月29・30日)	30	30	3,933	6,094	3,998	
2017 (平成29)	ブックリサイクル市(10月28・29日)	30	34	3,148	4,392	3,362	
2018 (平成30)	ブックリサイクル市(10月27・28日) 11月20日、除籍・リサイクル図書から、長野刑務所内の図書コーナーに300冊寄贈。 3月29日、除籍・リサイクル図書から、友好都市中国吉林省四平市へ189冊発送。	30	37	2,326	3,650	3,634	
2019 (令和元)	ブックリサイクル市(10月26・27日) 事前配布に、一般のどこでも図書館15館参加。	29	41	2,108	4,225	3,502	192
2020 (令和2)	リサイクルポストを屋外に出し、365日、受け入れが可能になった。会場での受け入れは中止。 新型コロナウイルス対策で、ブックリサイクル市は、事前申し込み・完全入れ替え制で開催した(10月31日・11月1日)。どこでも図書館への事前配布に、公共12・一般8館参加。	29	41	3,037	1,828	2,575	289
2021 (令和3)	ブックリサイクル市(10月30日・31日)の会場を剣道場から市民体育館に変更。 前年度、コロナ対策で導入した「事前申し込み」「完全入れ替え制」が好評だったため、継続。 どこでも図書館への事前配布に、公共10・一般8館参加。	30	39	2,387	2,826	2,820	608
2022 (令和4)	ブックリサイクル市(10月29日・30日) 会場は、広い市民体育館が好評だったため、継続。 「事前申し込み」「完全入れ替え制」「上履き持参」事前配布に、公共8・一般9館参加。 10月8日、「絵本館おはなしの森」20周年記念事業(講演会・館内改装)を支援。12月23日、アンケートから生まれた読書会「クリスマスに聴く『ナルニア国』の物語」に30名参加。	30	36	2,302	2,629	2,746	577

明日は……

ブックリサイクル市(須坂市民体育館)

●第1部 9時～12時 **ご見学いただけます**

お申し込みいただき、当選したかたの時間です。

●第2部 12時～1時 **ご参加いただけます**

抽選にもれたかたや申し込まなかったかたの時間です。

ひとり20冊(絵本は3冊)まで、無料でさしあげます。

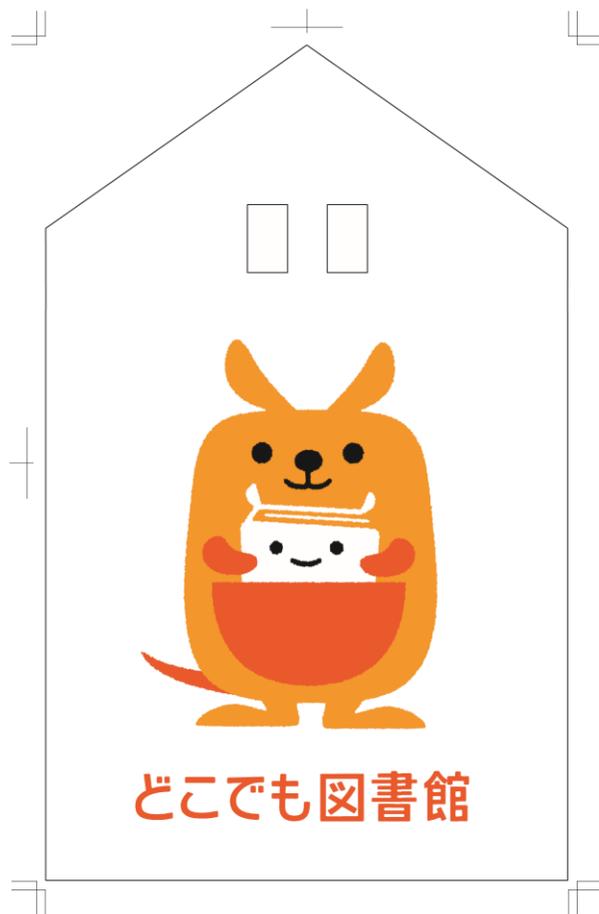
上履き&本を入れる袋や箱をご持参ください。

12時30分までにご入場ください。

来年度、須坂市は……

**「第74回長野県図書館大会」の
開催地です。**

**いつでも何度でも
信州須坂へお越しく下さい。**



どこでも図書館